



東京学芸大学リポジトリ

Tokyo Gakugei University Repository

上海日本人学校浦東校
社会科副読本の作成(国際理解教育・現地理解教育)

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2022-10-24 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 瀧田, 透 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2309/00174436

上海日本人学校浦東校 社会科副読本の作成

前上海日本人学校浦東校 教諭

福島県南会津郡南会津町立田島第二小学校 教諭 瀧 田 透

キーワード：現地理解、副読本作成

1 はじめに

上海日本人学校・浦東校は平成18年に完成したが、小学校で扱う副読本がなかったので、その作成をすることになった。虹橋校の副読本をもとに作成する。出来上がった副読本については上海日本人学校の小学3年生、4年生の社会科で活用する。作成までの流れは以下の通りである。

2 活動の実際

21年度中に、職員が協力して作成させる。副読本作成中心メンバーは右の表の通りで各学年から一人ずつメンバーに入ってもらう。

◎瀧田 透
○坂本 竜也
角田 孝史
福宮 匠
南迫 秀幸
高取 貞光
米田るり子
坂本 智宏
芳野 和宏
(長友 良仁)
(菅野 宏治)

3 副読本作成計画

(1) 計画から作成まで

① 小学部を中心に日程の通りに会議を設けて進める。

② 会議日程は以下の通り。

4月 28日 30日 午後3時～ ②

5月 12日 14日 21日 26日 午後3時～ ④

6月 2日 4日 11日 18日 25日 午後3時～ ⑤

7月 2日 9日 午後3時～ ②

8月 27日(夏休み中にすべきこと確認) 午後3時～ ②

9月 3日(最終) 午後3時～

③ 保存場所は以下のところに保存する。

07学習指導部→21社会科副読本改定

※ 写真などを上記フォルダに入れる。(下記の内容に入るもの)

※ その際、番号と名前を入れて、誰が入れて どの内容かが分かるようにする。

(例 46 県の様子 たきた)

3年・社会内容	4年・社会内容
31 学校のまわり	41 ごみの処理と利用
32 市のようす 浦東	42 水はどこから
33 スーパーではたらく人	43 古い道具と昔の暮らし
34 農家のしごと	44 山ろくに広がる用水
35 火事が起きたら	45 のこしたいもの、つたえたいもの
36 事故や事件がおきたら	46 県のようす 上海
37 安心してらせるまちに	47 暮らしと土地の様子
	48 土地の特色を生かした伝統工業
	49 県と私たちのまちの発展

④ 作成会議の中で、3・4年生の内容を手分けして進める。

⑤ 完成までの主なスケジュール 案

4月28日	全体会議
21年度4月30日	組織作り，編集会議，作業の分担 3年担当主任の選出 4年担当主任の選出
6月初旬	中間報告
7月	各原稿の読み合わせ，修正
8月下旬	改定作業終了，製本，完成
9月末	児童へ配布

⑥ その他

- ・メンバーだけでなく，職員全体へ資料の提供を呼びかける。
- ・虹橋校と完成後に，副読本の交換をする。
- ・副読本の印刷冊数は，3年生4年生の人数プラス職員分とする。

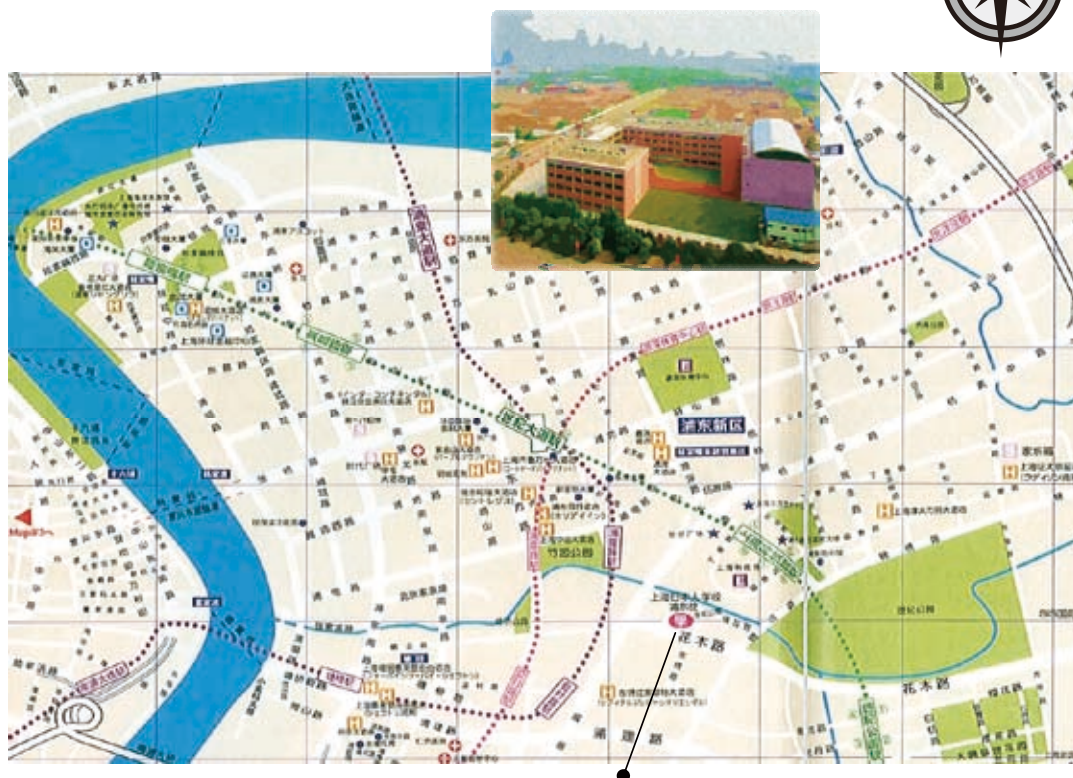
(2) 完成した副読本の児童への配布

平成21年11月下旬に配布となった。

4 完成した副読本の一部の紹介

【1】わたしたちのまち みんなのまち

1 学校のまわり（浦東校）



上海日本人学校浦東校

(Concierge 上海提供)

わたしたちの学校 上海日本人学校浦東校は平成18年度に開校しました。校しゃが作られてからまわりのまちの様子もずいぶんと変わってきました。

上海市の中心部から黄浦江をへだてて東側の浦東開発地区にあります。日本国のほじょ金と上海日けいき業からのたくさんのきふ金によって平成18年4月に新設されたばかりの校しゃです。約2万平方メートルのしき地には、体育館、屋内プール、武道場、200mトラック、通学バスのためのちゅう車場などのめぐまれたしせつが整えられています。

また、学校のまわりでは工事がどんどんと進んでいます。次々と大きなビルやマーケットが立ちならぶようになってきました。そのため、地下鉄やバスなどの交通量がひじょうに多くなってきています。



そう言えば、バスでいつも通学するけれど、学校のまわりには何があるのかわからないなあ。

世紀公園への校外学習に行くとき、お店がたくさんある商店街があったよ。



日本の商品を売る店（デパート）



大きなマンション

学校のまわりだけでも、実は知らないことばかり…。そこで学校のまわりをたんけんに行くことになりました。そこで、じまんの場所を見つけようというわけです。

5 おわりに

児童への副読本の配布は11月となった。それでも、早め早めに作業を進めたので、目標の年度内配布ができた。在外における副読本作成は特殊な環境のため、全教職員63人の協力がないとできないことが改めて理解することができた。